

都市を託される責任。



2016年11月16日

森トラスト株式会社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-3-17
虎ノ門2丁目タワー
お問い合わせ先: 広報部
TEL 03-5511-2255 FAX 03-5511-2259
URL <http://www.mori-trust.co.jp>

PRESS RELEASE

同時発表：国土交通記者会
国土交通省建設専門紙記者会
東京都庁記者クラブ

森トラストグループ震災訓練実施 ～防災社宅・ビル現場・安否確認の各訓練を統合して実施～

森トラストグループは本日11月16日に震災訓練を実施いたしました。

今回の訓練では、例年は独立した訓練として個別に実施している防災社宅訓練^{※1}・各ビルの現場訓練・一般社員が参加する安否確認訓練を統合して同時に行い、休日・夜間・早朝に発災した際の情報連携体制を確認しました。また、防災社宅に居住する社員（防災社宅社員）による早期の災害対策本部の立ち上げや都心部に保有する各ビルへの出動訓練、及び本部と各ビルとの情報連携等の、切れ目のない災害対策のシミュレーションを行いました。

また現在、迅速な災害対策活動に寄与すべく、社員による徒歩出社・帰宅訓練において、社員が通勤途中に確認した危険箇所などの情報を社内 SNS に投稿し、安全な経路を社員間で共有する取り組みを試験的に行っています。これらの訓練によって得られた成果等を踏まえたうえで、来年3月には、参加する施設及び社員の対象を拡大した、より大規模な総合震災訓練を実施する予定です。

森トラストグループでは、「持続可能で先進的な街づくり」という理念のもと、防災・環境性能を備えた国際競争力のある都市形成を目指し、ハード・ソフトの両面で、BCP^{※2}・DCP^{※3}に資する取り組みを行っております。東日本大震災の際も、仙台トラストシティにおいては非常用発電機を発動し、基本的な建物機能を維持するとともに、帰宅困難者や周辺住民の緊急避難場所としてエントランスホールを開放し、携帯電話の充電スペースとして電源を提供しました。

今後も安心・安全な都市形成に資する取り組みを継続し、東京ひいては日本の国際競争力の向上に貢献してまいります。

※1 防災社宅：森トラストグループでは震災等発生時の早期対応を目的として社宅を設けています。

※2 BCP：Business Continuity Plan（事業継続計画）

※3 DCP：District Continuity Plan（地域継続計画）



ビル現場での訓練

震災訓練概要（実施日 2016 年 11 月 16 日）

都心南部を震源とするM7.3の地震が平日早朝に発生し、都心区において震度が6強になる想定のもと下記訓練を行いました。

1. 安否確認訓練（震災時における社員安否の確認、活動要員の確保）

緊急時に社員・家族の安否確認及び情報伝達のツールとして導入している緊急連絡システムを活用。本部からの指示の周知及び各社員が登録した安否情報を集計するとともに、迅速な活動の体制を構築するため、初動活動要員・復旧活動要員として活動可能な社員を把握する訓練を実施。

2. 防災社宅・ビル現場訓練（発災から切れ目のない災害対策活動の実現）

平日早朝に防災社宅社員は虎ノ門の本社に緊急出勤。震災対策要員として宿直している社員から情報を引き継ぎ、「災害対策本部」の立ち上げと代行運営とともに管理運営ビルへ出勤し被害状況の確認と報告、初動活動の応援を実施。その後、本来の災害対策本部員への引き継ぎまでをシミュレートし、休日・夜間・早朝でも発災から切れ目のない震災対策活動が可能なことを確認。

また、被害状況を各ビルと本部にてリアルタイムで共有できる「森トラスト震災ポータルシステム」、災害時でも複数のビルと通信可能なWEB会議システム及びMCA無線等の複数の非常用通信ツールを使用することにより、被災状況や震災時のインフラ環境に応じた連絡体制の有効性を確認。



災害対策本部の様子